<table>
<tr><td colspan="2">会　議　名</td><td>第１回記念式典検討部会</td></tr>
<tr><td colspan="2">日　　時</td><td>平成２３年１１月７日（月）　１４：００～１５：００</td></tr>
<tr><td colspan="2">場　　所</td><td>田川市役所　4 階　第 2 委員会室</td></tr>
<tr><td rowspan="6">出席
委員</td><td>記念式典討部会
（6/9 人）</td><td>１　出席委員
名和田　　新（代理：　　）部会長
高瀬　春美　（代理：　　）副部会長
松岡　博文　（代理：　　）
藤春　秀徳　（代理：　　）
大宅　俊一　（代理：　　）
高尾　美津子（代理：　　）
２　欠席委員
森山　沾一　（代理：　　）
佐渡　文夫　（代理：　　）
久永　　明　（代理：　　）</td></tr>
<tr><td>総務部</td><td>犬丸総務部長</td></tr>
<tr><td>教育部</td><td>万田教育部長</td></tr>
<tr><td>総務課</td><td>日野課長、峯課長補佐、児島係長、小野主事、嶋田主事、（５名）</td></tr>
<tr><td>総合政策課</td><td>大峯課長、小川室長、古木主任、今城主事（４名）</td></tr>
<tr><td>コンサル</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">内　　容</td><td>報告事項
⑴　山本作兵衛氏の炭坑の記録画並びに記録文書の保存・活用等検討委員会設置要綱について
⑵　山本作兵衛氏の炭坑の記録画並びに記録文書の保存・活用等検討委員会専門部会設置要領について
協議事項
⑴　専門部会（記念式典検討部会）の進め方について
⑵　部会長及び副部会長の選出について
⑶　世界記憶遺産登録記念式典の開催計画について
⑷　記念式典の開催内容について
⑸　今後のスケジュールについて</td></tr>
<tr><td colspan="3">概　要

１　開会
副市長あいさつ

２　委員自己紹介
事務局から委員及び事務局、推進室の紹介</td></tr>
</table>

3　報告事項

⑴　山本作兵衛氏の炭坑の記録画並びに記録文書の保存・活用等検討委員会設置要綱について

⑵　山本作兵衛氏の炭坑の記録画並びに記録文書の保存・活用等検討委員会専門部会設置要領について

事務局から一括説明

4　協議事項について

⑴　専門部会（記念式典検討部会）の進め方について

事務局から一括説明

意見特になし

⑵　部会長及び副部会長の選出について

事務局提案の承認により、以下のとおり決定した

部会長　　名和田　新（福岡県立大学学長）

副部会長　高瀬　春美（田川市議会議長）

⑶　世界記憶遺産登録記念式典の開催計画について

事務局から一括説明

ア　趣旨

（委　員）　趣旨下段の「機運」は「気運」である。趣旨文であるので訂正願いたい。

（委　員）　趣旨上段の「国内外への情報発信」について、式典中に国外に情報発信することを前提に趣旨へ盛り込んでいるのか。

（事務局）　国内外への積極的な情報発信は、世界記憶遺産の登録に際しユネスコから義務付けられているものである。今後は山本作兵衛氏の記録画並びに記録文書の英訳も必要となるが、今現在ではインターネット等を介した情報発信を考えている。本件については今後さらに検討していく必要がある。

（委　員）　この趣旨は記念式典の趣旨であるので、式典の中に国外への情報発信を行う設え、企画が盛り込まれることが前提となると理解してよいか。

（委　員）　開催方針中の「市民・国内外・継承」の「継承」について、「次世代への継承」として明記すべきである。子どもたちの関わりが分かりやすくてよいと思われる。

（事務局）　「市民・国内外・継承」の表記を内容が分かる形で修正したい。

（委　員）　開催方針、趣旨中の「市民・国内外・継承」等のキーワードを目標にこれから式典が進められていくわけであるが、式典のみならずその次のステップも考えなければならない。継承であれば、大学、小中学校といった枠に捉われず炭鉱文化がいかに日本の近代化に寄与したかを教えていくべきであるし、国内外への情報発信であればインターネットだけではなくさらに一歩進んだ戦略を考えるべきである。

式典においては、まず市民の認識を高めることが重要である。式典を通して市民に世界記憶遺産についての認識を浸透させ、田川市の活性化への意欲を醸成する、そのスタートとしての式典であるべきである。

（委　員）　国外への情報発信の目的が見えない。集客を目的として行うのか、単純に田川市の存在をＰＲするために行うのか。または義務的に行うものなのか。その目的が見えれば、より具体的に趣旨に盛り込むことができ、手法の検討に繋がる。

（事務局）　趣旨で述べているとおり、ユネスコが認めたのは一労働者が残した比類のない記憶遺産、炭鉱文化であるので、この意義と価値を広く知っていただくために情報発信を行うものである。

（事務局）　世界記憶遺産に登録される前であるが、世界記憶遺産へ申請中後、ユネスコのホームページに山本作兵衛氏の記録画が掲載されていた時期に、フランスの小学校から石炭歴史博物館に対し、同記録画を授業で使いたいとの問合せがあったと聞いている。

（委　員）　世界記憶遺産登録の意義と価値を知ってもらうことを目的にするのであれば、式典中に行うのは難しいのではないか。例えば海外の教育関係者を招いてディスカッション等を行い、結果を持ち帰ってもらうのであれば、式典を通しての情報発信に繋がると思われるが、単純なセレモニーだけでは情報発信は難しいと思われる。

（委　員）　「市民・国内外・継承」は「市民が喜ぶ、皆へ知らせる、子どもたちへつなげる」等にした方がよいのではないか。

（委　員）　スローガン的なものを据えることもよいと思われる。

（委　員）　非常に良い意見であるので、今後検討していただきたい。

イ　主催者

（委　員）　式典の予算について、企業スポンサーを付ける等は考えていないのか。

（事務局）　予算については未定であり、スポンサー等は現時点では想定していない。今後の検討になると思われる。

（委　員）　スポンサーについては検討をお願いしたい。

ウ　共催・後援

（委　員）　共催・後援の依頼先としては報道関係を含めるべきである。

エ　開催日時

（委　員）　開催日程については、来賓出席の日程調整の為の期間や、連休や神幸祭など前後の行事も加味したところで日程を提示している。

意見特になし

開催日は、原案のとおり平成２４年５月１３日（日）で承認された。

オ　開催会場

（委　員）　物販については、具体的な案があるのか。

（事務局）　現在は未定であるが、図録など、山本作兵衛氏に関する商品の販売を想定している。

⑷　記念式典の開催内容について

事務局から一括説明

（委　員）　会場のレイアウト・装飾についての記載はないが、来場に魅力を感じ

るような華やかなものを考えていただきたい。

（委　員）　予算はいつの段階で固まるのか。

（事務局）　当初予算になるので、１２月中に固める必要がある。

（委　員）　大まかな予算枠を示して頂かないと、具体的な内容を検討できない。個人的には記念碑の作成も面白いと考えているが、そういった様々な案が予算上可能かどうか判断できないので、提示していただきたい。

（事務局）　予算は議会の議決を経て決定するものであるので、具体的な金額の枠というものを示すことは出来かねる。

（委　員）　現時点で予算については考慮せず、積極的に意見を出して頂いて、それから必要なもの絞り込む形でお願いしたい。

（委　員）　まずは意見を出して頂いて、その中からどれだけのものが必要なのかを検討課題としていきたい。

（委　員）　式典はどうしても地味なものになりがちであるが、市内外、国内外から来場いただくのであるから、世界記憶遺産登録への市民の喜びと意気込み、そして根底となる炭鉱文化を肌で感じて、持ち帰っていただかなければならない。そのためにはアトラクション等のセレモニーに力を傾注して華やかなものにしていただきたい。（具体例：会場全体の使用、子どもたちの出演、神輿の登場、炭坑夫の仮装等）

（委　員）　子どもたちへの継承の部分については、既に素案中（作文発表、くす玉開披）で盛り込まれているが、まだ足りないと思われる。継承を趣旨に据えるのであれば、子どもたちの企画への参画や、世界記憶遺産や田川市の今後をどうしていくかをテーマにした子ども会議を開催するなど、子どもたちが式典に関わる場を設けるべきである。

（委　員）　民間の子育て団体が、子どもたちが企画した芝居の発表等を行っている。夏休み期間に数回の練習で作り上げているものであるので、短期間でもこういった企画は可能である。保護者や学校関係者の来場も見込まれる。また、女性の炭坑労働者についての語りを行っている方もいるので、そういったものも盛り込んでいくことも有意義である。

（委　員）　本日出して頂いた意見を参考に事務局に検討していただくとともに、各委員においても持ち帰って更に検討をお願いしたい。

⑸　今後のスケジュールについて

事務局から一括説明

（委　員）　次の検討委員会はいつの予定か。

（事務局）　１２月１１日で調整中である。

（委　員）　次回の検討委員会に具体的な案を上げるのであれば、それまでに開催する部会が１回では不足である。１１月下旬に１度設けるべきではないか。

（委　員）　式典の具体的な中身について、これから各委員に意見をあげていただき、検討していくわけであるから、会議が１回で済むとは限らない。その点について事務局に検討をお願いしたい。

（委　員）　事務局を含め、検討部会全体で世界記憶遺産登録に値する記念式典を行うべく、積極的な意見をお願いしたい。

（事務局）　１１月末に開催できるよう、調整したい。

５　その他

（委　員）　学校教育関係者（校長会等）に検討部会へ出席していただいてはどうか。

（委　員）　正式な委員としての出席は難しいが、オブザーバーとしての出席は可能であるので、次回から小学校校長会、中学校校長会から出席を求めることとしたい。

（委　員）　具体案と会場運営上の制約との兼ね合いがわからないので、会場の責任者のオブザーバー出席もお願いしたい。

（委　員）　その点については、ある程度具体的内容が絞り込まれてから、会場への確認が必要になると思われる。

６　閉会

次回会議	日　時：平成２３年１１月下旬 場　所：未定 内　容：未定